

令和7年度事業報告

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

目次

1	令和7年度事業報告	—————	1
---	-----------	-------	---

令和7年度事業報告の承認について

記

国の第4期がん対策基本計画のがん検診受診率の目標値や栃木県のがん対策推進計画（4期計画）のがん予防及び早期発見の推進などの目標達成のため、健診機関として受診率向上や精度向上に取り組みました。

普及啓発事業では、テレビ、ラジオ、新聞、SNS、看板などに加え、新たな広報媒体としてフリーペーパーを活用し、検診の受診率向上などの普及啓発を行ったほか、県内プロスポーツ試合において、乳がんに関する資料配付やパネル展示等を実施するなど、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与する事業を展開いたしました。また、令和8年3月29日の設立50年の節目を機に新たに当事業団の公式キャラクター「けんこう まもるん」を作成しました。今後このキャラクターを広報活動などに活用してまいります。

集団健診事業の住民健診は、国において自治体検診DXの方向性が示されていますが、当事業団としても受診者の利便性向上や自治体の事務作業の軽減に向けた環境整備の検討を開始し、令和7年度においては、新たなWeb予約システムを導入し、自治体からの要望に対応して健診受付時間帯予約を可能とするなど顧客満足度の向上に努めました。また、将来を見据え、Web問診についても導入の検討を開始いたしました。

検査事業では、新生児の先天性代謝異常等検査において、令和6年10月からパイロットテストを行っていたライソゾーム病等スクリーニング検査を令和7年4月から正式に事業化しました。新生児のうち希望者に対し実施し、受検率は89.7%となっております。

人間ドック事業は、とちぎ健康の森の長寿命化工事の影響で4月中旬から5月上旬まで事業を休止しましたが、休止期間が令和6年度より短期間であったため受診者は325名増加しました。

なお、集団健診と人間ドック事業で、現在、別々に稼働している電算システムについて、事業の効率化と受診団体、受診者の利便性の向上を目的とし、新たな健診システムに統合することを3ヵ年計画（令和6～8年度）で進めており、令和9年度当初の新健診システムの稼働に向けてシステム開発に取り組みました。

食品環境検査事業では、食品等の放射性物質検査を実施してきましたが、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故から15年が経過し、放射性物質測定事業の縮小や終了をする自治体等が増加したことから、令和7年度末で事業を終了いたしました。

事業団全体としては、公益法人としての使命を果たすため、健診・検査で得られたデータの集統計や解析を行い事業年報を作成するなど調査・研究事業に積極的に取り組みました。また、物価上昇の影響による検診器材の高騰や賃上げによる人件費の上昇など経費の増加が進行する中、計画的な職員採用、人材育成、効果的かつ効率的な設備投資や健診・検査の精度管理の維持向上に努めるとともに、デジタル化社会などにも柔軟に対応できるよう「企画戦略プラン第3期」を着実に推進しながら、経営基盤の安定強化に努めました。

第1 普及啓発事業

県民が、疾病予防や健康の保持増進及び生活環境に関する正しい知識を得て、健診・検査を受けるなどの適切な疾病予防行動に繋げることを目的とした普及啓発事業を実施しました。

1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防及びメンタルヘルスに関する知識の啓発のために、県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら、各種メディアや SNS の活用、イベントの開催・参加などによる普及啓発活動を展開しました。なお、令和 7 年度は新たにフリーペーパー「トチペ」への告知掲載を行いました。

(1) 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 結核・呼吸器感染症予防週間運動の実施（9月24日から30日）

(ア) 県や市町及び学校等にポスターやパンフレットを配付し、結核や呼吸器感染症の予防に関する普及啓発を行いました。

- ・ポスター 970 部
- ・パンフレット 12,800 部

(イ) 結核・呼吸器感染症予防に関する内容について、県内のマスメディアや SNS を活用した普及啓発を行いました。

・テレビ	45 秒告知	1 種	5 回（とちぎテレビ）
・ラジオ	20 秒告知（※）	1 種	12 回（エフエム栃木）
	90 秒告知	1 種	5 回（エフエム栃木）
	20 秒告知	1 種	14 回（CRT 栃木放送）
	80 秒告知	1 種	6 回（CRT 栃木放送）
	生ワイド出演		1 回（CRT 栃木放送）
・新聞	1 面突き出しフルカラー告知	1 種	1 回（下野新聞）
	栃木版半 3 段モノクロ告知	1 種	1 回（読売新聞）
・SNS	X 投稿	3 種	3 回

（※）当事業団の職員による収録・放送

(ウ) 9月24日から30日まで栃木県庁昭和館にて、結核予防のシンボルカラーである“赤色”のライトアップを栃木県感染症対策課との共催で実施しました。

イ 複十字シール運動の実施

(ア) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール運動」に協力し、8月から12月まで募金活動を実施しました。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資材の作成・調査研究に役立てられます。

- ・令和 7 年度募金額 1,431,213 円

(イ) 結核などの胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「複十字シール運動」の開始にあたっての栃木県知事への表敬訪問を7月29日に実施しました。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との合同で、結核の現状報告並びに複十字シール運動への協力を依頼しました。

(ウ) 複十字シール運動の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的とした「街頭キャンペーン」を、9月23日に栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との共催で実施し、募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配布などを行いました。今年度は、実施場所を宇都宮オリオン通り商店街から JR 宇都宮駅東西連絡自由通路に変更し、幅広い世代への啓発活動を行いました。

(2) がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

(ア) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施しました。県や市町等のほか、県内の教育機関にがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付し、がん予防に関する普及啓発を行いました。

・ポスター2種（がん征圧、禁煙 各1,180部） 計2,360部

・リーフレット2種

（がん検診：3,900部、女性のがんと健康：3,900部） 計7,800部

・冊子（がんを知ろう） 2,300部

(イ) がん検診に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用した普及啓発を行いました。

・テレビ 45秒告知 1種 10回（とちぎテレビ）

・ラジオ 90秒告知 1種 5回（エフエム栃木）

・新聞 折込紙見開き1/2フルカラー告知 1種 1回（下野新聞折込紙「アスポ」）
栃木版半3段モノクロ告知 1種 1回（読売新聞）

・フリーペーパー トチペ1頁告知 1種 1月

・SNS X投稿 4種 4回

Xプロモツイート 1種 1月

・立て看板（とちぎ健康の森エントランスに設置） 1カ所

(ウ) がん対策運動のシンボルカラーとして有名な乳がんの“ピンク色”のライトアップを、9月1日から10日まで宇都宮タワー（八幡山公園）で実施したほか、10月1日から10日まで栃木県健康増進課との共催で栃木県庁昭和館のライトアップを実施しました。

(エ) がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的とした「街頭キャンペーン」を9月7日にJR宇都宮駅東西連絡自由通路にて実施し、募金活動やパネルの展示、リーフレットやノベルティの配布などを行いました。なお、令和7年度はJA共済連栃木の協賛により、ノベルティを提供いただいた他、当日は一緒に活動していただきました。

イ がん征圧募金運動の実施

(ア) がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を9月から12月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行いました。

この募金は、がん征圧の普及啓発活動に役立てています。

・令和7年度募金額 3,367,147円

(イ) がん征圧募金に関する内容についてSNSを活用し告知掲載を行いました。

・SNS X投稿 1種 1回

ウ 県内プロスポーツ試合での普及啓発

乳がんを中心としたがんに関する正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的とした「とちぎ de ピンクリボン」イベントを、男子プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）の宇都宮ブレックス主催試合の冠スポンサーとなり、10月15日、日環アリーナ栃木で行いました。乳がんに関する資料配付やパネル展示、場内アナウンスや大型ビジョン等を活用して乳がんをはじめとしたがん検診の普及啓発を行いました。また、令和6年度に引き続き、事業団公式Xのフォロー＆リポスのキャンペーンを実施しました。

エ がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とボランティアによる地元実行委員会が主催する、がん患者並びにその家族と支援者のためのチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2025 とちぎ」（9月20日から21日・壬生町総合公園陸上競技場）が開催され、事務局として参画しました。

また、当事業団はルミナリエに協力したほか、リレーウォークにも参加しました。

オ その他の主ながん検診受診率向上への取組

厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関する内容について、県内のマスメディアや SNS を活用し、がん検診受診率向上のための啓発活動を行いました。

・テレビ	45 秒告知	3 種	20 回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20 秒告知 (※)	1 種	12 回 (エフエム栃木)
・新聞	1 面突き出しフルカラー告知	2 種	2 回 (下野新聞)
	栃木版半 3 段モノクロ告知	1 種	1 回 (読売新聞)
・SNS	X 投稿	5 種	8 回

(※) 当事業団の職員による収録・放送

(3) 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 禁煙週間 (5 月 31 日から 6 月 6 日) の普及啓発

(ア) 禁煙に関するポスターの配付と展示を行いました。

- ・禁煙ポスター (配付) 275 部
(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・食品環境検査所・当事業団打合せコーナー

(イ) 禁煙週間に関する内容について県内のマスメディアや SNS を活用し普及啓発を行いました。

・SNS	X 投稿	3 種	3 回
------	------	-----	-----

イ 栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間 (11 月 1 日から 30 日)

(ア) 県から提供を受けた普及啓発ポスターやリーフレットの配布を行い、糖尿病予防と重症化防止のための啓発活動を行いました。

- ・世界糖尿病デーポスター (展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア
- ・リーフレット (配布) 4 種 計 320 部、とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

(イ) 糖尿病予防に関する内容について県内のマスメディアや SNS を活用し普及啓発を行いました。

・テレビ	45 秒告知	1 種	10 回 (とちぎテレビ)
・新聞	1 面突き出しフルカラー告知	1 種	1 回 (下野新聞)
・SNS	X 投稿	3 種	3 回

ウ 生活習慣病等予防の普及活動

生活習慣病予防やメンタルヘルス対策に関する内容について県内のマスメディアや SNS を活用し、健診・検査の受診率向上を図りました。

・テレビ	45 秒告知	2 種	15 回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20 秒告知 (※)	2 種	24 回 (エフエム栃木)
・SNS	X 投稿	16 種	16 回

(※) 当事業団の職員による収録・放送

エ 生活環境に関する普及活動

(ア) 食品衛生月間 (8 月 1 日から 31 日) に合わせ、手洗いの励行や食品の温度管理等とハサップに関する内容について、県内のマスメディアや SNS を活用し意識の向上と知識の普及を図りました。

・テレビ	45 秒告知	1 種	10 回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20 秒告知 (※)	1 種	12 回 (エフエム栃木)
・新聞	1 面突出しフルカラー告知	1 種	1 回 (下野新聞)
・SNS	X 投稿	3 種	3 回

(※) 当事業団の職員による収録・放送

(イ) 県内のマスメディアや SNS を活用して、簡易専用水道検査の受検勧奨を行いました。

- | | | | |
|------|-----------|-----|---------------|
| ・ラジオ | 20 秒告知(※) | 1 種 | 12 回 (エフエム栃木) |
| ・SNS | X 投稿 | 1 種 | 1 回 |

(※) 当事業団の職員による収録・放送

オ 関係機関等との連携・協力による普及活動

(ア) 県や市町及び民間団体等で実施される健康関連イベントなどに協力し、パネル展示やリーフレット・啓発グッズの配付・提供を行うなど、健診・検査の重要性について普及啓発を行いました。

①とちぎ健康の森健康づくり Day (社会福祉法人とちぎ健康福祉協会：とちぎ健康の森 6 月 8 日)

禁煙、肺がんに関するポスターの掲示、普及啓発グッズの配布

②市町及び事業所の実施する健康に関するイベントへの普及啓発グッズの提供 (5 市町)

ノベルティ 6 種 計 1,370 個

(イ) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配付しました。

- | | |
|-------------------------------|---------|
| ・複十字 (公益財団法人結核予防会) | 2,754 部 |
| ・健康の輪 (公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会) | 243 部 |
| ・対がん協会報 (公益財団法人日本対がん協会) | 7,722 部 |
| ・予防医学ジャーナル (公益財団法人予防医学事業中央会) | 180 部 |

(ウ) JA 共済連栃木の協賛により新聞広告を掲出し、より多くの県民の方への普及啓発を行いました。

- | | | | |
|---------------------|------------|-----|------------|
| ・がん征圧月間 | 半 3 段カラー告知 | 1 種 | 1 回 (下野新聞) |
| ・結核・呼吸器感染症予防週間 | 半 3 段カラー告知 | 1 種 | 1 回 (下野新聞) |
| ・乳がん月間 | 半 3 段カラー告知 | 1 種 | 1 回 (下野新聞) |
| ・栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間 | 半 3 段カラー告知 | 1 種 | 1 回 (下野新聞) |

2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査を受診することが非常に重要であることから、ホームページや SNS、定期情報誌を通じて健診・検査の意義や効果を啓発する事業を実施し、受診率の向上を図りました。

(1) ホームページ・SNS の活用

事業内容や採用情報など当事業団の情報や、調査・研究事業から得た情報を掲示するほか、健診・検査の基礎知識や生活習慣病、食品の取扱いについてなど、県民の健康の保持増進に役立つ情報を配信しました。

(2) 定期情報誌の発行

(ア) 健康や環境に関する最新情報や健診・検査の重要性の解説、当事業団が行う各種事業の取組状況などを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年 2 回、各 1,500 部発行しました。県や受診団体、医療機関、全国の関係団体などに配付したほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開しました。

(イ) 食品検査及び腸内細菌検査事業の内容と生活環境に関する関心を高めるとともに、ノロウイルス等の予防について周知する広報誌「アシスト Assist」を年 3 回、各 3,000 部発行しました。食品検査の受検事業者や県内の関係団体に配付したほか、とちぎ健康の森の人間ドックフロアにも設置し、ホームページでも公開しました。

(3) 看板等を利用した普及啓発

(ア) JR 宇都宮駅改札前通路の電飾看板に生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のための看板を年間を通して掲出しました。

(イ) 栃木県本庁舎エレベーター内の壁面に生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のためのポスターを年間を通して掲出しました。

(ウ) がん征圧月間 (9 月 1 日から 30 日) に合わせ、JR 宇都宮駅東口エリアのデジタルサイネージにがん検診に関する普及啓発のための告知を 1 月掲出しました。

(4) 公式キャラクターの作成

令和8年3月29日に、事業団が設立50周年を迎えることを記念し、公式キャラクター「けんこうまもるん」を作成しました。キャラクターのデザイン・名前はそれぞれ、当事業団職員からの公募を行い、デザインは計30案、名前は計25案集まりました。応募の中から事業団内の広報委員会による1次選考、理事長をはじめ常勤役員などによる最終選考で決定しました。今後は、県民への健康に関する知識の啓発、健診・検査の受診勧奨、がんや結核に関する募金活動等において、積極的にキャラクターを活用してまいります。

第2 県民の健康づくりのための健診・検査等事業及び調査・研究事業

県民の疾病の予防、生活環境の保全、健康の保持増進を図るため、各種の健診・検査事業を実施しました。

市町住民健診においては、新たなWeb 予約システムを導入し、自治体からの要望への対応として健診受付時間帯予約を可能とするなど顧客満足度の向上に努めました。

また、先天性代謝異常等検査において、令和7年4月からライソゾーム病等スクリーニング検査事業を正式に事業化し、新生児のうち希望者に対し実施しました。

1 健診・検査等事業の推進（部門別事業件数）

(1) 集団健診部門

ア 地域住民の健康を守る健診・検査事業（地域保健）

(ア) 塩谷郡市及び南那須地区の子宮がん検診において、令和7年度から HPV-DNA 併用検診が導入され、個別医療機関検診による受診者が増加しました。

（個別医療機関検診受診件数：1,872 件）

(イ) 那珂川町では、当事業団と他健診機関の2団体で住民健診を実施していましたが、令和7年度より当事業団のみが受託することとなったため、受診者数が増加しました。

（R6 他機関実施会場と同会場での R7 受診者数：686 名）

(ウ) 住民健診において、市町と連携して積極的に受診勧奨を行い、受診率向上に努めました。

(エ) 当事業団が提供する Web 予約システムにおいて、LGWAN 回線の利用によるセキュリティ面の強化や受付時間帯ごとの予約を可能にするなどの機能強化を図るため、令和8年度から新たな Web 予約システム提供者と提携することとしましたが、令和7年度には1自治体（さくら市）において先行して切替えを行いました。

事業区分			令和7年度				令和6年度			
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
胸部 検診	肺がん 検診	X線検査	17	77,587	2,479	3.2	17	77,907	2,583	3.3
		喀痰細胞診		1,164	1	0.1		1,245	0	0.0
胃 検診		X線検査	17	31,326	2,410	7.7	17	34,371	2,318	6.7
		ハイリスク検査	11	3,607	651	18.0	10	3,693	697	18.9
特定 健康 診査	国保		16	39,935	18,598	46.6	16	40,926	19,289	47.1
	国保 以外	社保		8,683	3,510	40.4		8,762	3,648	41.6
		後期高齢者		24,415	12,264	50.2		22,476	11,450	50.9
		健康診査等		4,268	1,160	27.2		5,218	1,364	26.1
	計		16	77,301	35,532	46.0	16	77,382	35,751	46.2
風疹抗体検査※			-	-	-	-	189	-	-	
子宮 がん 検診	集団検診方式		17	28,809	651	2.3	17	31,085	604	1.9
	医療機関方式 (日母)	頸がん	14	11,384	498	4.4	8	10,086	396	3.9
		体がん	11	3,697	25	0.7	7	3,539	17	0.5
乳 がん 検診	マンモグラフィ+超音波		17	45,472	1,530	3.4	17	46,220	1,856	4.0
	超音波			4,322	147	3.4		4,589	158	3.4
	計		17	49,794	1,677	3.4	17	50,809	2,014	4.0

事業区分	令和7年度				令和6年度			
	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
大腸がん検診	16	75,285	3,617	4.8	16	75,314	3,572	4.7
骨密度検診	17	11,864	1,316	11.1	17	11,808	1,258	10.7
前立腺がん検診	16	26,662	2,277	8.5	16	26,374	2,146	8.1

※ 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象として令和6年度末日までの3年間、風しん抗体検査及び予防接種を原則無料で実施している事業

イ 働く人の健康を守る健診・検査事業（職域保健）

- (ア) 既存受診団体のうち、大手製造業1社が、令和8年4月、5月に計画していた健診を令和8年2月、3月に時期を変更し実施したため、受診者数が増加しました。
- (イ) とちぎ健康の森の長寿命化工事に伴い、令和7年8月中旬から翌年2月までの間、小規模集合型健康診断の健診会場をとちぎ健康の森から栃木県青年会館コンサーレへ移し、実施しました。施設利用料を考慮し、健診日数を削減しましたが、一日の受け入れ上限の引き上げなどにより、受診件数は計画どおりとなりました。
- (ウ) ハラスメント防止支援事業につきましては、業務の効率化および業務戦略の見直しに伴い、令和6年度末をもって業務を終了いたしました。

事業区分			令和7年度				令和6年度				
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	
胸部 検診	結核検診		66	15,141	206	1.4	69	16,628	225	1.4	
	肺がん検診	X線検査	1,363	14,784	236	1.6	1,392	14,654	234	1.6	
		喀痰細胞診		159	0	0.0		183	0	0.0	
胃検診			1,242	9,537	580	6.1	1,291	10,457	571	5.5	
健康 診断	一般健康診断		2,342	72,729	20,797	28.6	2,382	71,276	21,183	29.7	
	特殊 健康 診断※	法定 項目	じん肺	69	1,241	-	-	58	593	-	-
			石綿	18	167	-	-	18	177	-	-
			有機溶剤	109	4,753	-	-	88	4,215	-	-
			電離放射線	27	4,095	-	-	32	3,658	-	-
			鉛	19	605	-	-	17	563	-	-
			特定化学物質	103	5,454	-	-	84	5,137	-	-
	行政 指導		有害光線	23	928	-	-	20	879	-	-
			騒音	43	1,950	-	-	42	1,802	-	-
			情報機器	20	698	-	-	20	657	-	-
			その他	11	937	-	-	8	778	-	-
健康 診断	メンタル ヘルス 支援	ストレスチェック	175	36,839	-	-	174	37,228	-	-	
		フォローアップ ^o 面談	6	16	-	-	2	16	-	-	
		教育研修	8	347	-	-	12	602	-	-	
		カウンセリング ^o	20	694	-	-	19	632	-	-	
	ハラスメント 防止支援	ほっとライン	-	-	-	-	9	-	-	-	
		企業研修	-	-	-	-	15	2,668	-	-	
		担当者セミナー	-	-	-	-	9	32	-	-	
	風疹抗体検査	-	-	-	-	-	23	-	-		
インフルエンザ予防接種	15	3,608	-	-	13	3,132	-	-			
子宮がん検診（集団検診方式）			473	3,552	81	2.3	463	3,549	72	2.0	
乳がん 検診	マンモグラフィ+超音波		513	2,296	113	4.9	502	2,299	91	4.0	
	マンモグラフィ			492	41	8.3		505	32	6.3	
	超音波			2,149	89	4.1		2,161	95	4.4	
	計			513	4,937	243		4.9	502	4,965	218

事業区分	令和7年度				令和6年度			
	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
大腸がん検診	1,688	24,285	900	3.7	1,691	24,199	928	3.8
骨密度検診	29	542	65	12.0	31	674	87	12.9
前立腺がん検診	296	3,906	222	5.7	291	3,822	191	5.0

※ 特殊健康診断の判定は各事業所の産業医が総合的に判断することから、受診団体数と受診者数のみの表記

ウ 子ども及び赤ちゃんの健康を守る健診・検査事業（学域・母子保健）

学域・母子保健は、近年、児童生徒数が減少傾向にあることから、検査件数は昨年度比で減少しています。

(ア) 心臓健診及び貧血検査においては、児童生徒数の減少や学校行事廃止に伴う検査中止の影響により、受診者数が減少しました。

(イ) 寄生虫卵検査については、学校保健安全法施行規則の一部改正による義務化の廃止（※）に伴う受検者数の減少および当該検査器材の製造終了・販売停止により、本検査の事業継続が困難であると判断し、令和7年度末をもって終了いたしました。

※学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令（平成26年文部科学省令第21号）

(ウ) 先天性代謝異常等検査においては、令和7年度4月からライソゾーム病等スクリーニング検査を正式に事業化し、新生児のうち希望者に対し実施し、受検率は89.7%でした。

事業区分			令和7年度				令和6年度				
			受診団体数	実施件数	要精検者数	%	受診団体数	実施件数	要精検者数	%	
結核検診			94	13,602	36	0.26	95	13,961	24	0.17	
心臓健診	小学校	心電・心音方式	397	9,641	461	4.78	401	10,117	468	4.63	
		12誘導方式		4,501	192	4.27		4,586	181	3.95	
	中学校	心電・心音方式	111	7,928	513	6.47	111	7,984	530	6.64	
		12誘導方式		59	1	1.69		88	2	2.27	
	高等学校	12誘導方式	93	13,844	834	6.02	97	15,155	959	6.33	
骨密度検診			1	49	0	0.00	1	51	0	0.00	
小児生活習慣病予防検診			203	10,774	294	2.73	211	12,098	312	2.58	
生化学検査			生化学検査	3	202	-	-	3	220	7	3.18
			貧血検査	193	15,546	119	0.77	199	16,456	97	0.59
			血清検査	1	468	-	-	1	473	-	-
寄生虫・尿検査	寄生虫卵検査		12	1,062	0	-	17	1,369	2	0.15	
	腎臓健診	1次検査	405	111,481	6,668	5.98	412	114,176	6,645	5.82	
		2次検査		6,213	1,195	19.23		6,193	1,285	20.75	
	尿検査	A (蛋白+糖)	1次検査	45	6,303	79	1.25	45	5,853	89	1.52
			2次検査		-	-	-		-	-	-
		B (蛋白+糖+潜血)	1次検査	251	30,811	953	3.09	247	31,931	949	2.97
2次検査			-		-	-	-		-	-	
先天性代謝異常等検査	アミノ酸代謝異常症(※1)		-	9,606	1	0.010	-	10,047	2	0.020	
	有機酸代謝異常症(※2)				1	0.010			1	0.010	
	脂肪酸代謝異常症(※3)				1	0.010			1	0.010	
	ガラクトース血症				2	0.021			1	0.010	
	先天性甲状腺機能低下症				6	0.062			2	0.020	
	先天性副腎過形成症				7	0.073			3	0.030	
	低出生体重児(※4)				217	-			-	212	-

事業区分	令和7年度				令和6年度				
	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	
拡大スクリーニング検査(※5)	-	9,606	脊髄性筋萎縮症	0	0.000	-	10,047	1	0.010
			重症複合免疫不全症	3	0.031			3	0.030
ライソゾーム病等検査(※6)	-	8,616	ライソゾーム病(※7)	3	0.035	-	4,623	2	0.043
			副腎白質ジストロフィー症(※8)	1	0.012			0	0.000

(※1)(※2)(※3)先天性代謝異常等検査はタンデムマス法による検査で実施し、アミノ酸代謝異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症として下表の17項目の検査を全ての受検者に実施

(※4)先天性代謝異常等検査の「低出生体重児」実施件数は、2次検査の実施件数を計上

(※5)脊髄性筋萎縮症及び重症複合免疫不全症の2疾患を追加した拡大スクリーニング検査をPCR法で全ての受検者に実施

(※6)令和6年度はライソゾーム病等検査をパイロットテストとして実施(令和6年10月から令和7年3月まで)

(※7)ライソゾーム病検査は蛍光抗体法で下表の4項目の検査を希望する受検者に実施

(※8)副腎白質ジストロフィー症検査はタンデムマス法による検査を希望する受検者に実施

区分	対象 疾患数	対象疾患名
アミノ酸代謝異常症(※1)	5	①フェニルケトン尿症 ②ホモシスチン尿症 ③メープルシロップ尿症 ④シトルリン血症Ⅰ型 ⑤アルギニノコハク酸尿症
有機酸代謝異常症(※2)	7	①プロピオン酸血症 ②メチルマロン酸血症 ③イソ吉草酸血症 ④メチルクロトニルグリシン尿症 ⑤HMG血症 ⑥マルチプルカルボキシラーゼ欠損症 ⑦グルタル酸血症Ⅰ型
脂肪酸代謝異常症(※3)	5	①CPT-1欠損症 ②MCAD欠損症 ③VLCAD欠損症 ④TFP/LCHAD欠損症 ⑤CPT-2欠損症
ライソゾーム病(※7)	4	①ファブリー病 ②ボンペ病 ③ムコ多糖症Ⅰ型 ④ムコ多糖症Ⅱ型

(2) 施設健診部門

ア 人間ドック

- (ア) 令和7年度は、とちぎ健康の森長寿命化工事に伴い、4月中旬から5月上旬まで事業を休止しましたが、休止期間が前年度よりも短かったため、9日間多い214日間の開催でした。
- (イ) 基本コースの受診者数は、前述の休止の影響を最小化するため、受入体制と受診勧奨を強化したことで、前年度対比325名増の11,348名でした。
- (ウ) オプション検査においても、基本コースの実施人数増に伴い全体的に増加しました。
- (エ) 胃内視鏡検査については、受診希望者の増加に対応するため、毎週木曜日と金曜日を3列稼働にして検査体制を拡充した結果、前年度対比で640名増加しました。

事業区分		令和7年度			令和6年度		
		実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%
基本コース		11,348	3,804	33.5	11,023	3,600	32.7
婦人ドックコース		10	0	0.0	12	1	8.3
肺ドックコース		0	-	-	155	4	2.6
オプション検査	乳腺超音波検査	3,319	55	1.7	3,157	58	1.8
	2Dマンモグラフィ	2,208	41	1.9	2,127	51	2.4
	3Dマンモグラフィ	710	-	-	640	-	-
	子宮頸がん検査	2,698	29	1.1	2,647	32	1.2
	経膈超音波検査	372	25	6.7	333	11	3.3
	骨粗鬆症検査	491	58	11.8	356	51	14.3
	PSA検査 (前立腺がん検査)	1,833	78	4.3	1,778	90	5.1
	胸部CT検査	738	16	2.2	580	13	2.2
	胃内視鏡検査	4,101	122	3.0	3,461	101	2.9
	血管年齢測定	354	-	-	402	-	-
	内臓脂肪測定	246	-	-	267	-	-
	HPV検査 (ヒトパピローマウイルス)	128	-	-	148	-	-
	甲状腺超音波検査	369	13	3.5	366	15	4.1
	甲状腺機能検査	291	1	0.3	268	4	1.5
	視野検査	308	21	6.8	298	12	4.0
	頸動脈超音波検査	376	6	1.6	392	3	0.8
	ペプシノゲン検査	535	-	-	540	-	-
	血中ピロリ抗体検査	730	-	-	771	-	-
	HOMA-R (インスリン抵抗性検査)	163	-	-	162	-	-
	姿勢分析	38	-	-	28	-	-
	アレルギー検査	158	-	-	142	-	-
	サインポスト遺伝子検査	23	-	-	31	-	-
	風疹抗体検査	-	-	-	16	-	-
NT-proBNP (慢性心不全リスク検査)	153	2	1.3	142	0	0.0	
喀痰細胞診検査	265	0	0.0	450	0	0.0	
MCI検査 (軽度認知障害リスク検査)	109	-	-	92	-	-	

イ 特定健康診査

人間ドックフロアを使用する特定健康診査の実施日が増加し、令和7年度は73件実施しました。

事業区分		令和7年度			令和6年度		
		実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%
特定健康診査	社保	73	24	32.9	54	18	33.3

ウ 健康づくりセンター支援事業

栃木県、社会福祉法人とちぎ健康福祉協会及び当事業団の三者による「とちぎ健康づくりセンター事業の一層の推進のための取り組みの実施に関する協定書」に基づき、次の事業を実施しました。

(ア) 医師の派遣

とちぎ健康づくりセンター利用者に対する医学的助言、スタッフに対する助言指導、健康づくり講座の講師として医師を派遣しました。

(イ) とちぎ健康づくりセンターと連携した取組

とちぎ健康づくりセンターの利用者や事業団の特定保健指導対象者が、それぞれの施設の機能（センター：トレーニング施設、事業団：医学的検査・測定）を活用しやすいように、スタンプカードや施設利用券を発行して利用促進を図りました。

(ウ) 県民の日イベントへの協力

社会福祉法人とちぎ健康福祉協会が主催する「健康づくり Day」で、骨密度測定（無料）を実施しました。

(3) 保健指導部門

ア 特定保健指導の実施

- (ア) 人間ドックや集団健診後の特定保健指導は、24 団体 1,585 人に実施しました。内動機付け支援は 994 人、積極的支援は 591 人でした。
- (イ) 初回分割面接（集団健診当日において血液データ等が揃わない段階での保健指導）を一部保険者の依頼により 26 名に実施しました。
- (ウ) 令和 6 年 4 月より開始された第 4 期特定保健指導に基づき、アウトカム評価の導入及び ICT を活用した保健指導を実施しました。

事業区分			令和7年度		令和6年度		
			実施団体数	実施件数	実施団体数	実施件数	
特定	市町村 国保	出張型	動機付け支援	4	331	3	263
		積極的支援	6	175	5	137	
	施設型	動機付け支援	3	47	2	38	
		積極的支援	2	8	1	6	
保健 指導	その他	出張型	動機付け支援	6	86	6	94
		積極的支援	6	76	6	79	
	施設型	動機付け支援	11	530	17	482	
		積極的支援	11	332	13	291	
合計		動機付け支援	24	994	28	877	
		積極的支援	25	591	25	513	
		総実施件数		1,585		1,390	

※出張型：依頼団体が指定した会場に出張して保健指導を実施する場合

施設型：とちぎ健康の森内で保健指導を実施する場合

※動機付け支援の中に動機付け支援相当12件（市町村国保出張型1件、その他出張型4件、その他施設型7件）を含む

※合計の実施団体数は延数

イ 専門職派遣、健康教室の受託

市町や事業所等から専門職の派遣や健康教室の依頼を受け、保健師・管理栄養士・健康運動指導士を派遣しています。

令和7年度は専門職派遣を8団体に対し22日間、健康教室は3団体に対し7日間実施しました。対象や内容は多岐にわたり、健康管理や生活習慣病予防のほか障害者雇用に積極的な事業所での身体機能測定・健康講話、従業員を対象としたメンタルヘルス、介護予防指導員を対象とした運動指導などを実施しました。

事業区分		令和7年度		令和6年度	
		実施団体数	実施日数	実施団体数	実施日数
専門職派遣	市町	2	12	4	35
	事業所	6	10	7	22
健康教室	事業所	3	7	2	6
合計		11	29	13	63

ウ 健康相談センター事業

県民からの様々な相談に対し、医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等の専門スタッフが対応しています。

令和7年度は85件の相談があり、人間ドック・集団健診ともに検査所見と医療機関紹介で全体の半数以上を占めています。

相 談 内 容 区 分	令和7年度				令和6年度			
	人間ドック		集団健診等		人間ドック		集団健診等	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
検 査 所 見	16	30.8	7	21.2	27	38.6	16	37.2
医 療 機 関 紹 介	14	26.9	14	42.4	16	22.9	15	34.9
検 査 内 容	4	7.7	-	-	2	2.9	-	-
生 活 習 慣	1	1.9	1	3.0	1	1.4	3	7.0
紹 介 状	12	23.1	2	6.1	16	22.9	1	2.3
そ の 他	5	9.6	9	27.3	8	11.4	8	18.6
小 計	52	100	33	100	70	100	43	100
合 計	85				113			

(4) 食品環境検査部門

ア 腸内細菌検査

食品取扱者の実施件数の減少は、主に食品衛生協会会員の減少によるものです。また、学校給食従事等の主な減少は、保育所関連の入札等によるものです。

事業区分			令和7年度			令和6年度		
			実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%
腸内細菌検査	食品取扱者	マルチプレックスPCR法※	71,293	40	0.056	76,805	45	0.059
	学校給食従事者等		39,134	10	0.026	41,443	22	0.053

※ 赤痢菌、サルモネラ属菌、0157や026、0111等を含む腸管出血性大腸菌を同時にスクリーニング

イ 食品検査

細菌検査は、食肉製品の規格試験等の依頼が減り、昨年度比 610 件減の 7,369 件、理化学検査も同様に、昨年度比 188 件減の 696 件を実施しました。

ウ ノロウイルス検査

学校給食従事者等からの依頼が減り、昨年度比 125 件減の 886 件実施いたしました。

エ 放射能検査

放射能検査は、自治体等からの依頼が減り、昨年度比 269 件減の 137 件実施しました。

自治体からの依頼を中心に検査を実施してきましたが、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故から 15 年が経過し、放射性物質測定事業の縮小や終了をする自治体が増加したことから、令和 7 年度末で事業を終了しました。

事業区分		令和7年度			令和6年度		
		実施件数	不適件数	%	実施件数	不適件数	%
食品検査※	細菌検査	7,369	23	0.31	7,979	28	0.35
	理化学検査	696	4	0.57	884	1	0.11
	農薬検査	3,103	0	0.00	3,885	0	0.00
	ノロウイルス検査	886	83	9.37	1,011	67	6.63
放射能検査	食品・環境試料等	60	0	0.00	203	0	0.00
	飲料水	77	0	0.00	203	0	0.00
	計	137	0	0.00	406	0	0.00

※ 食品検査は、検査項目数を実施件数としています。

オ 食品自主衛生管理認証制度（とちぎ HACCP）

認証業務を行う認証機関として 12 回の審査会を開催し、1 件の新規認証と 16 件の認証更新を行いました。

区分	令和7年度	令和6年度
新規	1	3
更新	16	16
計	17	19

カ 簡易専用水道検査等

(ア) 簡易専用水道検査の現場検査は、新規施設は10件あったものの、施設の廃止や学校の統廃合の影響により、現場検査は昨年度比10件減の1,261件を実施しました。

(イ) 一般水質検査は、主に温泉水や浴槽水のレジオネラ属菌検査等で、昨年度比32件減の455件実施しました。

その他（嫌気性芽胞菌など）の検査を昨年度比5件増の175件実施しました。

事業区分			令和7年度			令和6年度		
			実施件数	不適件数	%	実施件数	不適件数	%
簡易専用水道検査等	簡易専用水道検査	現場検査	1,261	13	1.03	1,271	16	1.26
		書類検査	120	0	0.00	124	0	0.00
	一般水質検査	レジオネラ属菌検査等	455	22	4.84	487	39	8.01
		その他 (嫌気性芽胞菌など)	175	1	0.57	170	0	0.00

2 健診・検査等結果に基づく調査・研究事業

県民の疾病予防、生活環境の保全、健康の保持増進及び県内における検診技術や学術水準の向上を図るため、健診・検査等で得られたデータの集統計及び解析やがん検診受診者の精密検査受診状況の追跡調査を行い、その結果及び検診手法などに関して得られた成果を学会で発表するほか、事業年報等にまとめて市町や事業所などの受診団体等に対して提供することにより、疾病予防対策及び県民の健康管理の基礎資料としての活用を促進しました。

また、県民向けの健康情報等の発信を定期情報誌やホームページを活用して実施するとともに、当該成果等を活用して各種の普及啓発事業を実施しました。

(1) 発見がん追跡調査の実施

令和6年度に、住民健診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診や人間ドックを受け、精密検査が必要になった受診者のうち、精密検査結果連絡票にがん又はがん疑いと記載のあった症例について、発見がん追跡調査を実施しました。各がん取扱い規約に基づいた詳細な内容を把握する調査票を、精密検査を実施した124医療機関宛てに1,304枚送付し、回収できたのは1,228枚(回収率94.2%)でした。

これにより、がん発見率や陽性反応適中度等のプロセス指標値を用いて、がん検診の精度管理状況の評価をし、改善に向けた検討を行っています。なお、追跡調査結果は、読影医及び調査協力医療機関に報告しています。

(2) 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究への協力

厚生労働省では福島第一原子力発電所において緊急作業に従事した作業員の長期にわたる健康影響を明らかにすることを目的に、平成26年度から約30年間にわたる疫学的研究を実施しています。当事業団は健診受託機関として参画しており、令和7年度は32名の対象者に健康診査を実施しました。

(3) 診断結果等の提供

健診・検査等で得られたデータ及びそれらのデータを統計的に分析したものを、受診団体及び調査・研究機関等に提供しました。

ア 地域・職域診断サービス報告書を受診団体へ提供

受診団体における健康づくりに活用いただくために、健康診断の有所見率や生活習慣などについて当該団体と全国・県データを比較評価し、報告書として提供しています。さらに要望に応じて保健師等を派遣し、分析結果や改善策について直接説明を行っています。

令和7年度は6団体(1市町・5事業所)に提供しました。

*全国・県のデータは公益財団法人予防医学事業中央会の「地域職域診断サービス」を活用

イ 調査研究機関等への提供

肺がんによる死亡者数の増加を受け、日本医療研究開発機構(AMED)は、非・低喫煙者を対象に胸部X線検査を行う検診と胸部CT検査を行う検診の無作為化比較試験を実施し、胸部CT検査の有効性を検証しています。

当事業団は令和4年12月からこの試験に参加し、令和6年2月の新規募集終了まで131名の方に検査を実施しました。令和7年度の検査はありませんでしたが、初回検査で胸部CT検査の対象となった方は、5年後の令和9年度～10年度に再度胸部CT検査を行う予定となっています。

ウ 事業年報作成及び配布

健診・検査で得られたデータの集統計や解析、がん追跡調査の結果等をまとめた当事業団発足以来発行している事業年報(第49号)を350部作成しました。今年度より環境負荷軽減の観点から、希望された275団体には、ホームページに掲載したPDFデータにアクセスするQRコード付きのがきでの案内としました。県民の疾病予防及び健康増進のための基礎資料や、地域・職域において実施される保健事業の計画及び市町が定める健康増進計画策定等の参考にできるよう、県、市町、受診団体、医療機関、大学などの関係機関に配付したほか、より多くの方が利用できるようホームページに公開しました。

エ 各種学会研修会等での公表

研究の成果を広く県内関係団体や全国的な研究機関等における疾病の予防、生活環境の保全、健康増進のための基礎資料として活用の促進に繋げるため、事業の成果を次のとおり学会で発表し、公表しました。

学会名（開催日・開催場所）	演 題
第66回日本人間ドック・予防医療学会 学術大会 ・令和7年8月22日、23日 ・京都府	1 トモシンセシス導入初年度における受診勧奨効果と検診成績
第63回栃木県公衆衛生学会 ・令和7年9月3日 ・宇都宮市	1 当施設における胃X線検査カテゴリー分類の精度調査 2 過去20年間の簡易専用水道検査結果に基づく貯水槽の劣化傾向と耐用年数についての考察
第35回日本乳癌検診学会学術総会 ・令和7年11月28日、29日 ・高知県	1 総合判定方式で精検不要とした受診者の経過調査
令和7年度簡易専用水道検査全国技術 研究発表会 ・令和7年12月18日、19日 ・東京都	1 ウェアラブル端末を用いた身体状態の計測による検査時の危険リスクの分析
第59回全国予防医学技術研究会 ・令和8年3月5日、6日 ・山口県	1 付加健診における肺機能検査の取り組みについて 2 住民健診における肝炎ウイルス検査の実施状況報告

3 精度管理の充実

(1) 内部精度管理

ア 当事業団施設で行われている各部門の検体検査について、日常的なデータの精度が一定基準の範囲内にあるか得られたデータをもとに統計学的手法を用いて解析評価を行いました。また、既知試料（標準物質）などを使用して、日々の検査精度（精密度や正確度）の確認を行いました。

さらに精度向上のため、肺がん検診、胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、心電図判定、先天性代謝異常等検査について外部の専門家を含めた委員会を開催しました。

委 員 会 名	開 催 日	開 催 場 所
精度管理専門委員会肺がん検診委員会	令和8年3月19日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会胃がん検診委員会	令和8年2月10日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会子宮頸がん検診委員会	令和8年3月17日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会乳がん検診委員会	令和8年3月10日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会心電図検査委員会	令和8年2月27日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会先天性代謝異常等検査	令和8年2月18日	とちぎ健康の森

(2) 外部精度管理

外部精度管理については、次に示す第三者機関が実施する精度管理調査に参加し、客観的評価を受けて検査精度を確認し、精度管理の徹底を図りました。

区 分	精 度 管 理 名	実 施 団 体 名	評 価
胸部X線検査	胸部画像精度管理研究会	公益財団法人結核予防会	総合評価A
	胸部X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	総合評価A
肺がん検診 子宮がん検診 (細胞診)	日本臨床細胞学会コントロールサーベイ	公益財団法人日本臨床細胞学会	正解率86.6%
	日臨技臨床検査精度管理調査	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	全て評価A

区分	精度管理名	実施団体名	評価
胃がん検診	胃部X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 一般社団法人日本消化器がん検診学会	総合評価A
乳がん検診	マンモグラフィ検診施設・画像評価	特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構	総合判定結果B-1
健康診断 特殊健康診断 生化学検査 特定健康診査	日本医師会臨床検査精度管理調査	公益社団法人日本医師会	全てA評価
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
	全衛連臨床検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
	予防医学事業中央会精度管理調査 精度管理認証事業	公益財団法人予防医学事業中央会	総合評価A
	労働衛生検査精度管理調査（鉛・有機溶剤に係る生体試料検査に関する精度管理調査）	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
超音波検査	腹部超音波検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 公益社団法人日本人間ドック予防・医療学会	評価A
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
心電図検査	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
先天性代謝異常等検査	先天性代謝異常症等 マス・スクリーニング精度管理	一般社団法人日本マススクリーニング学会	検査精度は適正
	SCID/SMAスクリーニング技能試験（PT）		「陰性・陽性」判定が適切
食品検査	食品衛生外部精度管理調査	一般財団法人食品薬品安全センター	全て満足
放射能検査	放射能測定技能試験	公益財団法人日本分析センター	満足
簡易専用水道検査	簡易専用水道外部精度管理調査	厚生労働省 一般社団法人全国給水衛生検査協会	評価S
水質検査	レジオネラ属菌検査精度管理サーバイ	島津ダイアグノスティクス	非濃縮検体：良好範囲内 濃縮検体：良好範囲内

4 優良施設認定等の維持

当事業団は、次に示す全国的評価機関の行う各種認定を受け、人材の育成、機器の管理、システムの充実に努めました。

区分	認定等の名称	認定団体
乳がん検診	マンモグラフィ検診施設画像認定	特定非営利活動法人日本乳がん検診 精度管理中央機構
特定健康診査 健康診断	労働衛生サービス機能評価認定機関	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価委員会
	精度管理認証事業	公益財団法人予防医学事業中央会
	臨床研修協力施設	厚生労働省
細胞診	日本臨床細胞学会認定施設	公益社団法人日本臨床細胞学会
人間ドック	人間ドック健診施設機能評価認定施設	一般社団法人日本病院会 公益社団法人日本人間ドック予防・医療学会
簡易専用水道検査	水道法第34条登録検査機関 （登録番号第41号）	厚生労働省
個人情報保護	プライバシーマーク	一般財団法人日本情報経済社会推進協会

5 学術委員による指導

健診・検査の精度の向上や効果の高い事業を実施するため、自治医科大学・獨協医科大学などの公衆衛生をはじめとした各部門の専門医である 11 名の学術委員より指導を受け、検査システムの構築や改善並びに精度向上に努めました。

学 術 委 員 氏 名	所 属
阿 江 竜 介	自治医科大学 地域医療学センター 公衆衛生学部門教授
藤 原 寛 行	自治医科大学 産科婦人科学講座主任教授
小 橋 元	獨協医科大学 副学長 獨協医科大学 医学部 公衆衛生学講座主任教授
入 澤 篤 志	獨協医科大学 医学部 内科学（消化器）主任教授 獨協医科大学病院 副病院長
小 嶋 一 幸	獨協医科大学 医学部 上部消化管外科学（一般外科）主任教授
白 石 英 明	獨協医科大学 医学部 小児科学主任教授
難 波 美 津 雄	佐野医師会病院 名誉院長
山 形 崇 倫	栃木県リハビリテーションセンター 理事長
鈴 木 光 明	新百合ヶ丘総合病院 がんセンター センター長 自治医科大学 名誉教授
安 藤 二 郎	地方独立行政法人栃木県立がんセンター 病院長
小 林 望	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 検診部門長

6 健診・検査等における新たな手法の取組

行政や医師会、大学病院等と連携し、より精度の高い効果的な手法による健診・検査を実施して、新たな手法等の検証や精度管理の向上に係る研究等を積極的に行いました。

(1) 先天性代謝異常等検査におけるライソゾーム病等スクリーニング検査

ライソゾーム病等スクリーニング検査を令和 7 年 4 月から事業化し、新生児のうち希望者に対し実施し、受検率は 89.7%でした。

7 健診・検査等の質の向上のための連携体制の構築

行政や他の検診機関、関係機関等と連携した協議会等の主催や研修会の開催及び全国の関係機関との情報交換の実施等の各種取組を展開し、県民の健康の保持増進や県内の健診・検診等の質の向上を図りました。

(1) 栃木県がん集検協議会・がん集団検診従事者研修会の運営

県民に、より精度の高いがん検診を提供するため、がん検診の有効な実施手法の検討及びがん検診従事者の資質向上等を目的として、県内の保健所、市町、医師会及び大学病院や検診機関などの医療関係機関などを構成員とした栃木県がん集検協議会を栃木県立がんセンターと協力して運営し、全県的な発見がん追跡調査を行うとともに、次に示す研修会等を開催しました。

研 修 会 等 名 称	開 催 日	開 催 場 所
子宮がん検診従事者研修会	令和7年10月4日	自治医科大学
胃がん検診従事者研修会	令和8年 2月10日	Web形式
精度管理研修会	令和8年 3月9日	とちぎ健康の森
乳がん検診従事者研修会	令和8年 3月10日	Web形式
第1回精度管理部会	令和8年 3月12日	書面開催
大腸がん検診従事者研修会	令和8年 3月12日	Web形式
肺がん検診従事者研修会	令和8年 3月19日	Web形式
第1回前立腺がん検診部会	令和8年 3月18日	とちぎ健康の森+Web形式

(2) 栃木県集団検診実施機関連絡協議会の運営

県内における集団検診の向上発展を図ることを目的として、栃木県集団検診実施機関連絡協議会の事務局を運営し、連絡会議等を開催しました。

開催月日	主たる審議事項
栃木県集団検診実施機関連絡協議会総会 令和7年 9月11日 (栃木青年会館コンセーレ)	1 議題 (1) 役員の選任について (2) 令和6年度事業報告 (3) 令和6年度収支決算報告および令和6年度監査報告 (4) 令和7年度事業計画 (5) 令和7年度収支予算 2 意見交換 3 講話 「生活習慣病予防健診の現状と課題」 全国健康保険協会（協会けんぽ）栃木支部 様 3 報告事項およびその他
栃木県集団検診実施機関連絡協議会健診検査部会 令和8年 2月19日 (とちぎ健康の森)	1 あいさつ 2 意見交換 3 その他

(3) 専門医師、技術者の講師派遣等

当事業団が有する検診技術等を広く普及させ、県民の健康の保持増進に繋げていくため、公益財団法人日本対がん協会や特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構等が行う各種講習会や研修会に主催団体からの依頼に応じて医師等を講師として派遣しました。

主な派遣先は次のとおりです。

研修会等名称	講師派遣
産業保健セミナー 計5回 (栃木産業保健総合支援センター)	医師
産業保健セミナー 計3回 (労働基準協会・鹿沼市工業団地総合管理協会)	医師
認定産業医研修 計5回 (地区医師会・栃木産業保健総合支援センター共催)	医師
特定化学物質、四アルキル鉛等作業主任者技能講習 計3回 (人財学園)	医師
有機溶剤作業主任者技能講習 計2回 (人財学園)	医師
主任者技能講習特定化学物質講習 (建設業労働災害防止協会栃木県支部)	医師
第23回マンモグラフィ読影指導者研修会 (日本乳がん検診精度管理中央機構)	医師
第12回乳房超音波技術講習会 (公益財団法人日本対がん協会・日本乳がん検診精度管理中央機構共催)	医師
第35回乳がん検診用マンモグラフィ読影に関する講習会 (公益社団法人日本産婦人科医会)	医師
第40回埼玉県乳がん検診セミナー (埼玉県医師会)	医師
千葉県乳房画像研究会プログラム (千葉乳房画像研究会)	医師

(4) 研究会・研修会及び会議等への参加及び情報交換

公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会及び公益財団法人予防医学事業中央会が開催する全国大会やブロック会議などに参加し、全国の各種予防医学活動の動向を把握するほか、全国の関係団体間での精度管理、血液検査データの共有化などを図り、県民に対して、より精度の高い健診・検査を提供できるよう努めました。

(5) 県などが実施する各種検討会への参画

栃木県などが県民の健康の保持増進やがんなどの生活習慣病対策のために設立している各協議会等に委員として参画しました。なお、主な協議会等への参加状況は次のとおりです。

委員会名	委員会における役職	開催日	出席者
栃木県がん集検協議会	副会長	令和7年6月26日	理事長
	理事		医療局長
	副会長	令和7年8月29日	理事長
	理事		医療局長

委員会名	委員会における役職	開催日	出席者
栃木県公衆衛生協会	副会長	令和7年7月1日	理事長
		令和8年2月25日 (書面開催)	
栃木県がん対策推進協議会 がん検診部会	委員	令和7年7月17日	医療局長
栃木県がん対策推進協議会 がん登録部会	委員	令和7年9月24日 (Web開催)	乳がん検診部長
とちぎ健康21プラン推進協議会及び 健康長寿とちぎづくり推進協議会幹事会	委員	令和8年3月3日	理事長
栃木県医療費適正化計画協議会	委員	令和7年12月17日	医療局長

(6) 公衆衛生学実習生の受入れ

公衆衛生学の実習生受け入れを次のとおり実施しました。

内容	実施日	対象	人数
公衆衛生看護学実習Ⅱ	令和7年5月9日、13日	足利大学看護学部4年生	43人
公衆衛生看護学実習Ⅱ (健診機関における保健活動)	令和7年9月24日、26日	栃木県立衛生福祉大学校保健学科	31人
健診業務における臨床検査技師の役割 及び他職種との連携について	令和8年3月10日	栃木県立衛生福祉大学校臨床検査学科 2年生	13人

8 会議等の開催

(1) 評議員会・理事会

令和7年度の評議員会・理事会を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議事項
第80回 理事会	令和7年4月1日 (全員同意によるみなし決議)	1 常務理事の選定について 2 理事の報酬額について
第81回 理事会	令和7年5月9日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について 2 評議員候補者の推薦について
第34回 評議員会	令和7年5月21日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事の選任について
第82回 理事会	令和7年6月4日	1 令和6年度事業報告について 2 令和6年度決算報告について 3 評議員会の開催について 4 任期満了に伴う評議員候補者の推薦について 5 職務執行状況の報告
第35回 評議員会	令和7年6月19日	1 令和6年度事業報告の承認について 2 令和6年度決算の承認について 3 任期満了に伴う役員の選任について
第83回 理事会	令和7年6月19日 (全員同意によるみなし決議)	1 常務理事の選定について 2 評議員選定委員会委員の選任について
第84回 理事会	令和7年7月28日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について
第36回 評議員会	令和7年8月11日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事の選任について
第85回 理事会	令和7年10月1日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員候補者の推薦について

会議名	開催月日	主たる審議事項
第86回理事会	令和7年12月9日 (全員同意によるみなし決議)	1 常務理事の勤勉手当の額について
第87回理事会	令和7年12月25日 (全員同意によるみなし決議)	1 常務理事の報酬額について
第88回理事会	令和8年3月11日	1 令和7年度補正予算について 2 令和8年度事業計画について 3 令和8年度予算について 4 令和8年度公益目的事業の内容について 5 役員賠償責任保険の加入について 6 常勤役員の報酬月額について 7 常勤役員の期末手当の額について 8 職務執行状況の報告

(2) 評議員選定委員会

令和7年度の評議員選定委員会を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議事項
第22回評議員選定委員会	令和7年5月21日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について
第23回評議員選定委員会	令和7年6月10日	1 議長の選出について 2 評議員の選任について
第24回評議員選定委員会	令和7年10月14日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について

(3) その他の会議

その他の会議を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議事項
令和7年度 住民健診担当者 意見交換会	令和8年3月9日 (とちぎ健康の森)	1 がん検診精度管理に関する研修会 (1) 発見がん追跡調査報告 (2) がん検診における精密検査「受診・未受診・未把握」 2 意見交換
第8回 とちぎ産業保健 セミナー	令和8年3月11日 (WEB開催)	1 令和8年度 検診・検査の変更点など (精度管理部門) 2 令和8年度 検診に関する変更点など (集団健診部門) 3 講演 「健診を”受けて終わり”にしないために ～健康が、生産性を最大化する～」 講師：公益財団法人栃木県保健衛生事業団 健康増進部 健康支援課長 忽那洋子

9 安全管理体制の充実

(1) 個人情報保護マネジメントシステム（プライバシーマーク）の推進

当事業団が取り扱う多くの要配慮個人情報の管理の重要性を踏まえ、職員意識の向上と、個人情報の取り扱いについての社会的信用を確立することを目的に、プライバシーマーク制度を導入し、個人情報保護マネジメントシステム運用しています。平成17年度に県内医療機関初の認定を受けたプライバシーマーク制度の趣旨に基づき、継続的にJIS要求規格に適応した個人情報保護マネジメントシステムの改善に努めています。令和7年度は、2年に1度の更新審査の年であり、11回目の付与適格が決定しました。

(2) リスク管理システムの推進

安全かつ適切な業務の管理・推進のために設置しているリスク管理委員会において、インシデント事例の収集やアクシデント防止の対策等について審議し、職員教育に取り組むなど組織全体で情報の共有を行い、リスク管理体制を強化し安全性の向上に努めました。

10 法人の運営体制の充実を図るための取組

当事業団における評議員、外部理事、監事の選任については、次のような人選を行っています。

評議員については、公衆衛生、医療や企業経営等の分野の学識経験者、行政、保険者などから選出することとし、県医師会、大学病院、栃木県議会、保健所長会、経営者協会、保険者協議会などの団体からご就任いただいております。外部理事については、主に医療分野の学識経験者として県立病院、県病院協会、県産婦人科医会、看護協会からご就任いただいております。また、監事については、ガイドラインに沿って1名は公認会計士とするほか、公益法人等の運営の見識を有する方を選任しております。

なお、評議員の選任及び解任については、評議員選定委員会で行うこととし、その委員の構成は評議員1名、監事1名、事務局員1名、弁護士などの外部委員2名です。

上記方針に基づき、令和7年度には評議員と外部理事に各2名の辞任があったため、評議員として栃木県議会議員及び自治医科大学教授の方に、理事として栃木県産婦人科医会会長及び栃木県看護協会役員の方に新たな評議員及び役員にご就任いただきました。

1.1 機器等の整備

健診・検査精度の向上や効率化を図るため、次のとおり機器、電算システム及び車両等を整備しました。

(1) 検査等機器

(取得価格 1,000,000 円以上)

No.	機器名等	型式・規格	数量	用途	区分
1	解析付心電計	FCP-9800	1	特定健康診査	更新
2	心電心音解析装置	ECP-8641	2	心臓検診	更新
3	システム生物顕微鏡	BX53F2-1-2	1	子宮がん検診	更新
4	超音波診断装置	SONIMAGE HS2	3	乳がん検診	更新
5	上部消化管用内視鏡検査装置	ELUXEO 8000	1	人間ドック	更新
6	経膈超音波診断装置	SONOVISTA GX20	1	人間ドック	更新

(2) 電算システム(ハードウェア・ソフトウェア)

No.	システム名	システム内容等	数量	開発委託先	区分
1	健診管理システム	住民健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
2	健診管理システム	事業所健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
3	ハンディ健診システム	ハンディ健診システム (ソフトウェア)	1	キヤノンITSメディカル(株)	新規
4	人間ドックシステム	人間ドック情報管理システム機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)メルクスシステム	新規
5	レポートシステム・PACKS	レポートシステム・PACKS (ソフトウェア)	1	(株)スリーゼット	新規
6	胸部読影用端末	読影用端末6M×2面 (ハードウェア)	1	(株)スリーゼット	更新
7	胸部読影用端末	読影用端末6M×1面 (ハードウェア)	1	(株)スリーゼット	更新
8	胸部読影用端末	読影用端末3M×2面 (ハードウェア)	1	(株)スリーゼット	更新
9	マンモグラフィ読影用端末	読影用端末5M×2面 (ハードウェア)	1	(株)スリーゼット	更新
10	情報漏洩対策システム	情報漏洩対策システムサーバ (ハードウェア)	1	コムコ(株)	更新

(3) 車両

No.	車両名	型式・規格	数量	用途	区分
1	検体運搬車	日産ADバンHR15DE	1	腸内細菌検査	更新
2	胸部検診車 (X線撮影装置載せ替え)	キヤノン SREX-A32B/F1	1	胸部検診	新規
3	子宮がん検診車 (蓄電池載せ替え)	チタン酸リチウム蓄電池	1	子宮がん検診	新規
4	乳がん検診車 (蓄電池載せ替え)	チタン酸リチウム蓄電池	1	乳がん検診	新規
5	胃部検診車 (X線管球交換)	キヤノン SREX-D32C/R1	1	胃検診	新規
6	子宮がん検診車 (改修)	婦人検診台DG-770N 他	1	子宮がん検診	新規

※一般財団法人日本宝くじ協会助成車両

7	乳がん検診車	車両 いすゞ 2PG-FTR90V4 X線 キヤノン MGU-1000D	1	乳がん検診	更新
---	--------	---	---	-------	----

(4) 建物附属設備

No.	資産名	型式・規格	数量	用途	区分
1	基幹光ケーブル敷設工事	基幹光ケーブル	1	内部通信環境整備	新規